

ビンラディン容疑者、殺害



- 5月2日、米国は国際テロ組織アル・カーイダ指導者、ビンラディンをパキスタン国内の潜伏先で殺害したと発表。

湾岸戦争:1991/1-2

- 1990年8月2日:イラクがクウェートに侵攻
- 国際連合が多国籍軍(連合軍)の派遣を決定
- 1991年1月17日:イラクを空爆した事にはじまる戦争
- イラクのクウェートへの侵攻から湾岸戦争の開始ととらえることもある。
- ナイラの証言:「イラク残酷、イラクを叩け」
- 水鳥

イラク戦争:2003

- 1990: イラク軍、クウェート侵攻(湾岸危機)
- 1991年1-2月 - 米軍を中心とした多国籍軍がイラクを攻撃(湾岸戦争)。「砂漠の嵐」作戦(operation desert storm)
- イラク敗戦し、報復措置によって経済制裁を受ける。
- ナイラの証言(90/10)
- 油まみれの鳥の映像
- 朝日新聞社会部(編)『メディアの湾岸戦争』(朝日新聞社、1991)
- 2003/3/19: イラクの自由作戦
- 4/01 ジェシカ・リンチ事件
- 4/10 - バグダッドの Saddam Hussein とされる銅像が引き倒される。
- 5/01 - ブッシュ大統領が「大規模戦闘終結宣言」(終戦宣言ではない)。米兵の死者は138人。イラク人死者不明。
- メディアが米軍の標的に
- エンベッド取材



- 高木 徹 (著)『ドキュメント 戦争広告代理店—情報操作とボスニア紛争』(講談社、2002)
- 木下和博『メディアは戦争にどうかかわってきたか』(朝日新聞社、2005)

柳澤伸司:新聞教育の原点



- 目次
 - 序章 「新聞」の啓蒙
 - 第二章 近代教科書に描かれた新聞像
 - 第三章 新聞の教育機能
 - 第四章 体系化される新聞
 - 第五章 新聞活用の知識
 - 第六章 「新聞」に着目した教師
 - 第七章 戦後占領期の新聞教育
 - 終章 「新聞教育」の視点
- あとがき
- 付録
- 主要参考文献
- 人名・事項索引
- 世界思想社、2009年



3 インク・紙の発明

- 用紙、木版印刷技術発明、普及
 - エジプト: パピルス(紀元前3,000年前後)
 - 後漢 蔡 倫: 製紙法の改良
 - 複製recopy の技術
- 筆書・筆写・写本: 記録性・遠距離性
- アジアからヨーロッパへ
 - キリスト教の普及、
 - 印刷技術の伝播≠「新聞」の発生

7

4 郵便・通信制度の発達

- 軍事上(交通上)、政治上
- 飛脚・馬・駅伝(はゆま)・伝馬(てんま)・駅制
- ニュース媒体としての人=旅行者、商人、吟遊詩人、大道芸人、放浪芸人、
- 十字軍、留学生、僧
- 古代ローマ Acta Senatus
Acta Diura, Populi Romani
- 中国 唐 (いわゆる)『邸報』

8

まとめ

- ゲーテンベルクが出現するまでに、ある一定の意味内容のものが公にされ、一般人民に示され、伝えられる、という行為が成立。
- 1. 版 2. 紙 3. インク 4. プレス の製作技術が進歩

9